予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用　配水及び給水費(補助金)

要する経費全体	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	500千円	300千円	1,000千円	0千円
総人件費	743千円	733千円	733千円	
総事業コスト	1,243千円	1,033千円	1,733千円	

事務事業名	01 鉛給水管交換工事費支援対策事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	水道法
事業分類	E　補助金･負担金事業
執行体制	職員のみ
事業の目的	鉛給水管解消の助成を行うことにより，一層安全な水の供給を図るため。
事業の概要	給水装置の所有者等自らが行う，鉛給水管解消の交換工事費用の２分の１に相当する額を，１０万円を限度に助成する。
ISO 14001 H28環境関連性	- - - / -
ISO 14001 H29環境関連性	- - / -

指標名	-	指標種別	-			
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-
実績	4件	5件	3件	-			

	H28年度	H29年度
改善目標	—	本制度を継続し，地区内の鉛給水管使用を減少させていく。
事業計画	年度早期に，本事業の目的･しくみ等についてわかりやすいお知らせ文書等を作成し，地区の回覧版にて周知を図る。	6月中に本事業の目的･しくみ等についてお知らせ文書を作成し，地区の回覧等にて周知する。また，新規指定事業者に対し本制度の説明を加えるとともに，11月に予定している指定給水装置工事事業者講習会時にも制度説明を行う。
活動実績（H28）／上半期活動実績（H29）	年度早期（7月）に，本事業の目的，助成制度のしくみ及び流れについて地区（宝陽台）の回覧にて周知し，4件の申請を受け，年度内に工事完了した3件について助成した。（うち1件の申請分は29年度完了予定につき，翌年度補助）	-
成果（H28）／上半期成果（H29）	広報により，地区住民への助成制度が周知され，新築･改築等の際は塩ビ管等への改修が進められた。	-
課題	鉛給水管交換工事の実施には，助成を受けても相当額の費用がかかることから，制度利用者が少ない。	-
事業の進捗状況	達成	-
改善目標の進捗状況	—	-
評価：有効性	中：適切な成果が得られている	-
評価：効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
評価：総合評価	B：成果･費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

指標の概要	-
その他の指標	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）	500千円	300千円	1,000千円	0千円
内訳：国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳：県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳：地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳：その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳：一般財源	500千円	300千円	1,000千円	0千円
人件費（B）	743千円	733千円	733千円	
内訳：正職員 従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
内訳：正職員 時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
内訳：臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）	1,243千円	1,033千円	1,733千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用　配水及び給水費

要する経費全体	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	0千円	18千円	40千円	0千円
総人件費	1,486千円	1,466千円	1,466千円	
総事業コスト	1,486千円	1,484千円	1,506千円	

事務事業名	01 貯水槽水道点検調査事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	水道法
事業分類	A　任意的事業
執行体制	職員のみ
事業の目的	貯水槽（受水槽）式の水道使用者（マンション居住者等）が，安心で安全な水の供給を受けるための貯水槽水道点検調査を実施し，設置者に対してその結果を伝え，適正な貯水槽水道管理を図るため。
事業の概要	貯水槽設置者に対して，点検調査義務の周知及び管理状況アンケート調査を実施する。また，市で実施している無料点検調査の案内をするとともに，実施した点検調査結果に問題がある場合は，設置者又は管理者に指導・助言を行なう。
ISO14001 H28環境関連性	- - - -
ISO14001 H29環境関連性	- - -

指標名	-	指標種別	-				
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-
実績	-	-	-	-			

	H28年度	H29年度
改善目標	—	—
事業計画	年度早期に対象の貯水槽設置者100者程度を抽出して，事業の目的等がわかるお知らせ文書と貯水槽水道管理に関するアンケートを送付し，アンケート調査回答及び設置者の希望による立会点検結果に対して必要な指導・助言をする。	貯水槽設置者100者程度を7月を目途に抽出し，事業の目的等が分かるお知らせ文書と貯水槽水道管理に関するアンケートを送付し，8月中に回答を得る。また，設置者からの要望による立会点検に対しての必要な指導・助言を行う。
活動実績 / 上半期活動実績	貯水槽水道設置者から100者を抽出し，貯水槽点検に関するお知らせ文書及びアンケート調査表を7月に送付し，42者から回答を得た。また希望者を対象に現地立会点検を実施し,安全な飲料水の供給と適正な貯水槽管理のための指導・助言を行った。	-
成果 / 上半期成果	アンケート結果から，貯水槽管理状況を把握することができた。また，希望者に対して現地立会点検を実施したことにより，適正な貯水槽管理についての再認識が得られた。	-
課題	-	-
事業の進捗状況	達成	-
改善目標の進捗状況	—	-
評価 有効性	中：適切な成果が得られている	-
評価 効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
評価 総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

指標の概要	-
その他の指標	-

事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）		0千円	18千円	40千円	0千円
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	18千円	40千円	0千円
人件費（B）		1,486千円	1,466千円	1,466千円	
内訳 正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
	臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）		1,486千円	1,484千円	1,506千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用　配水及び給水費（委託料）

要する経費全体	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	20,567千円	22,960千円	22,513千円	0千円
総人件費	27,539千円	19,893千円	20,110千円	
総事業コスト	48,106千円	42,853千円	42,623千円	

項目	内容
事務事業名	01　給水台帳データ構築事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	つくば市水道給水条例
事業分類	A　任意的事業
執行体制	一部委託
事業の目的	申請から工事完成までの給水装置に関する情報を電子データ化することにより，わかりやすく正確な台帳システムによる情報提供及び給水装置に関する問合せ等の対応を迅速に行うため。
事業の概要	従来の紙ベースによる台帳図，給水装置工事完成図書，地番図，市販地図等を基に台帳システム用に地理情報，各種文字属性情報を加えて電子データ化し，給水台帳管理システムを構築していく。

ISO 14001		
H28環境関連性	○　天然資源の枯渇防止	達成
	給水台帳をデータ化することで，紙の使用量を削減する。	
H29環境関連性	○　天然資源の枯渇防止	
	データ化された給水台帳のより有効な活用を図り，紙の使用量を削減する。	

指標名	-	指標種別	-				
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-
実績	-	-	-	-			

	H28年度	H29年度
改善目標	給水装置情報の確認または提供にあたり，極力画面ののみでの確認を心掛けることや，印刷時に図面の縮尺を使い分ける等，本システムの性能を有効に活用し，紙の使用量を削減する。	給水装置情報の確認または提供にあたり，極力画面ののみでの確認を心掛けることや，印刷時に図面の縮尺を使い分ける等，本システムの性能を有効に活用し，紙の使用量を削減する。
事業計画	年度の半ばに一般競争入札にて委託契約を締結し，未登録給水装置工事情報（約5,200件）の電子データ化と地図情報データの更新を実施し，給水台帳システム内のデータを最新情報にする。	工事が完了している給水装置工事情報等（約3,600件）の電子データ化及び税務地図データの更新を実施する。また，本年度の契約までの工事情報については，緊急性の高いもの等必要に応じ職員（臨時職員）がデータの更新を行うなど最新情報が閲覧可能な給水台帳管理システムを構築する。
活動実績（H29：上半期活動実績）	本事業のための業務委託契約を10月に締結し，未登録の給水装置工事情報約5,200件を既存の給水台帳システムに電子データ化して追加登録を行った。また，その他地図情報等必要なシステムデータの更新を行った。	-
成果（H29：上半期成果）	給水装置に関する情報が更新されたことで，情報閲覧者に対して，より最新の情報提供，問合せ等に対してより迅速な対応が可能となった。	-
課題	契約期間終了（年度末）から次回の契約・データ更新までに発生した情報に関しては，完成図等紙資料による情報管理となる。	-

	H28年度				H29年度			
	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-

評価	H28年度	H29年度
有効性	中：適切な成果が得られている	-
効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

項目	内容
指標の概要	-
その他の指標	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）	11,880千円	14,800千円	14,270千円	0千円
内訳　国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳　県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳　地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳　その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳　一般財源	11,880千円	14,800千円	14,270千円	0千円
人件費（B）	2,229千円	2,198千円	2,198千円	
内訳　正職員　従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
内訳　正職員　時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
内訳　臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）	14,109千円	16,998千円	16,468千円	

項目	内容
H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	給水係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用　配水及び給水費（委託料）

要する経費全体 事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	20,567千円	22,960千円	22,513千円	0千円
総人件費	27,539千円	19,893千円	20,110千円	
総事業コスト	48,106千円	42,853千円	42,623千円	

項目	内容
事務事業名	02　給水装置工事設計審査申請に関する事務
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	つくば市給水条例
事業分類	C　義務的事業
執行体制	一部委託
事業の目的	給水装置工事申請の審査，水道加入金等納付書発行，納付確認及び給水装置工事承認書発行等の事務を正確かつ迅速に実施し，滞りなく市民に対して水道水の供給を行うため。
事業の概要	給水可能証明書発行，給水装置工事設計審査・承認，加入金徴収，国・県道道路占用許可申請，工事検査，給水装置工事事業者指定，その他給水装置工事に関連する事務全般を行なう。
ISO14001 H28環境関連性	- - - / -
ISO14001 H29環境関連性	- - / -

指標名	申請件数	指標種別	活動結果指標			
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-
実績	2,880件	2,590件	2,722件	-			

指標の概要	給水装置工事設計審査申請件数
その他の指標	-

項目	H28年度	H29年度
改善目標	—	より一層の事務の効率化を図るとともに日々の問題解決に向けての打合せ等を随時行い，窓口での処理時間の短縮と正確性を高める。
事業計画	近年の実績並みの給水装置工事申請件数が予想されるが，本事務に携わる従事者が減になることから委託員・臨時職員と，より効率化のための連携を図り対処していく。また，その他関連の事務に関しても同様に対処していく。	近年の実績並みの給水装置工事申請件数が予想されるが，本事務に携わる従事者1名が入れ替えになることから委託員・臨時職員と，より効率化のための連携を図り対処していく。また，その他関連の事務に関しても同様に対処していく。
活動実績（H28）／上半期活動実績（H29）	年間で約2,700件の給水装置工事申請に対して，委託員・臨時職員との連携を図り厳正かつ迅速に設計審査，完成検査を行った。	-
成果（H28）／上半期成果（H29）	水道使用者に対して円滑に安全安心な水道水の供給をすることができた。	-
課題	市内の開発事業（UR・県等）が継続中であることで，今後も相当数の工事申請が予想される.	-
事業の進捗状況	達成	-
改善目標の進捗状況	—	-
評価 有効性	中：適切な成果が得られている	-
評価 効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
評価 総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）	8,687千円	8,160千円	8,243千円	0千円
内訳 国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 一般財源	8,687千円	8,160千円	8,243千円	0千円
人件費（B）	25,310千円	17,695千円	17,912千円	
内訳 正職員 従事割合	3.40人	2.40人	2.40人	
内訳 正職員 時間外勤務	20.00時間	42.00時間	124.00時間	
内訳 臨時職員等	有	有	有	
事業コスト（A＋B）	33,997千円	25,855千円	26,155千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体 事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	128,952千円	128,952千円	128,952千円	0千円
総人件費	7,223千円	9,446千円	9,713千円	
総事業コスト	136,175千円	138,398千円	138,665千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用　業務費（委託料）

事務事業名	01 上下水道料金徴収業務委託事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	つくば市給水条例
事業分類	C　義務的事業
執行体制	全て委託
事業の目的	上下水道料金徴収業務を民間委託することにより，市民サービスの向上を図るため。
事業の概要	窓口対応，電話等による受付，水道開閉栓，検針，調定，認定，メーター管理，その他上下水道料金徴収業務を包括的に民間委託する。
ISO 14001 H28環境関連性	- - - / -
ISO 14001 H29環境関連性	- - / -

指標名	収納率			指標種別	成果指標		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%	99.88%
実績	99.88%	99.90%	99.84%				

	H28年度	H29年度
改善目標	市民要望に対する敏速かつ適切な対応を図るため，関係各課への業務引継方法の見直し変更を平成２８年度内に実施する。	委託業者に対し適切な指導・監督を行う。 滞納者で真に生活に困窮している方について，福祉関係部署との連携を推進する。
事業計画	平成２８年度予算水道料金調定額（税込） 3,599,501千円（見込）	平成２９年度予算水道料金調定額（税込） 3,639,760千円（見込）
活動実績 / 上半期活動実績	平成２８年度水道料金調定金額（税込） 3,659,195千円	-
成果 / 上半期成果	水道メーターの検針から料金徴収までの一連の業務を正確かつ適切に実施することにより，健全な水道事業の運営に資するとともに更なる市民サービスの向上が図られた。	-
課題	業務量の増加により，市民要望に対する敏速な対応や，委託業者に対するなお一層の適切な指導・監督が必要となっている。 　収納率の向上のために給水停止を行っているが，真に生活に困窮している方への対応について，福祉関係部署との緊密な連携が必要である。	-
事業の進捗状況	達成	-
改善目標の進捗状況	達成	-
評価 有効性	中：適切な成果が得られている	-
評価 効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
評価 総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

指標の概要	水道料金の各年度毎の収納率
その他の指標	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）	128,952千円	128,952千円	128,952千円	0千円
内訳 国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳 一般財源	128,952千円	128,952千円	128,952千円	0千円
人件費（B）	7,223千円	9,446千円	9,713千円	
内訳 正職員 従事割合	0.90人	1.25人	1.25人	
内訳 正職員 時間外勤務	201.00時間	60.00時間	160.00時間	
内訳 臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）	136,175千円	138,398千円	138,665千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用　業務費（修繕費）

要する経費全体	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	67,944千円	58,914千円	70,862千円	0千円
総人件費	6,935千円	9,446千円	9,713千円	
総事業コスト	74,879千円	68,360千円	80,575千円	

事務事業名	01 水道メーター検満修理・引換事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	計量法
事業分類	C　義務的事業
執行体制	全て委託
事業の目的	・法定検定期間(8年)の満了前に新しい水道メーターに交換し，正確な検針と料金請求に資することを目的とするため。
事業の概要	・法定検定期間(8年)の満了前に新しい水道メーターに交換する。
ISO 14001 H28環境関連性	- - - -
ISO 14001 H29環境関連性	- - -

指標名	水道メーター交換数	指標種別	活動結果指標				
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	12,337個	14,174個	8,845個	9,716個	12,426個	13,284個	12,738個
実績	12,257個	14,095個	8,795個				

	H28年度		H29年度
改善目標	メーター交換困難箇所に対し書面により改善を求める指示書「水道メーター設置周辺部（給水管）の環境改善指示書」様式を平成２８年度内に作成する。	改善目標	委託者に対し適切な指導・監督を行う。
事業計画	平成２８年度の交換予定個数は8,845個で，検定期間満了までに交換を実施する。	事業計画	平成２９年度の交換予定個数は9,716個で，検定期間満了までに交換を実施する。
活動実績	建物解体等に伴い交換対象箇所に減が生じたため，8,795個の水道メーター交換を実施した。 環境改善指示書様式を29年3月に作成した。	上半期活動実績	-
成果	正確な検針と水道水の安定供給を確保するとともに，経営の安定化に貢献することができた。	上半期成果	-
課題	メーターの交換件数が多いため，交換作業に起因すると思われる漏水やトラブルが数件程度発生する。	課題	-

H28年度			
事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成
評価 有効性	中：適切な成果が得られている		
評価 効率性	中：適切な費用対効果が得られている		
評価 総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		

H29年度			
事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-
評価 有効性	-		
評価 効率性	-		
評価 総合評価	-		

指標の概要	法定検定期間満了に伴い年度内に交換した水道メーターの交換数
その他の指標	-

事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）		67,944千円	58,914千円	70,862千円	0千円
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
内訳	一般財源	67,944千円	58,914千円	70,862千円	0千円
人件費（B）		6,935千円	9,446千円	9,713千円	
内訳 正職員	従事割合	0.90人	1.25人	1.25人	
内訳 正職員	時間外勤務	93.00時間	60.00時間	160.00時間	
内訳	臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）		74,879千円	68,360千円	80,575千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道業務課	料金係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	03	-	営業費用　業務費

要する経費全体	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
総事業費	701千円	82千円	635千円	0千円
総人件費	1,583千円	3,776千円	3,880千円	
総事業コスト	2,284千円	3,858千円	4,515千円	

事務事業名	01 上水道加入促進事業
戦略プラン	- - - -
総合戦略	- - - - - - - - - - - -
個別計画	-
根拠法令等	-
事業分類	B　任意的事業（小規模）
執行体制	職員のみ
事業の目的	・上水道に対する理解を深め，市民が健康で快適な生活を送れることができるよう安全・安心な上水道への早期接続を推進するため。
事業の概要	毎年全国規模で開催される「水道週間」を中心に，市民へ上水道の理解を深めてもらう。また，年間を通じてホームページによる上水道の安全性や情報の発信を行い，今後の上水道普及の促進を図る。更に，イベント事業に参加しアンケート等の啓発活動を展開するとともに，地元要望による説明会等へ参加する。
ISO 14001 H28環境関連性	- -　- -
ISO 14001 H29環境関連性	- - -

指標名	水道普及率			指標種別	成果指標		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
目標値	82.2%	83.32%	83.34%	83.36%	83.38%	83.40%	83.42%
実績	84.70%	84.36%	84.92%				

	H28年度	H29年度
改善目標	本年度の実施時には，部内での協力を呼びかけ，更なる効率化を図る。	―
事業計画	○毎年6月の「水道週間」に加入推進の市報掲載。 ○「まつりつくば」イベント事業に参加し，水道水の試飲実施，水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開および市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施する。 ○地元要望による地区説明会を実施する。	○毎年6月の「水道週間」に加入推進の市報掲載。 ○「まつりつくば」イベント事業に参加し，水道水の試飲実施，水道加入推進並びに水資源啓発事業の展開および市民の動向を調査するなどの啓発活動を実施する。 ○地元要望による地区説明会を実施する。
活動実績（H28）／上半期活動実績（H29）	6月の水道週間に併せて市広報紙に記事を掲載して水道水の安全性をPRした。また，8月のまつりつくばに参加してアンケートや加入促進のチラシ配布を行い加入促進に努めた。 上郷地区，沼崎地区，柴崎地区，小白硲地区，酒丸地区，佐地区の説明会に参加して加入促進に努めた。	-
成果（H28）／上半期成果（H29）	普及率の向上を図ることができた。	-
課題	-	-
事業の進捗状況	達成	-
改善目標の進捗状況	達成	-
評価 有効性	中：適切な成果が得られている	-
評価 効率性	中：適切な費用対効果が得られている	-
評価 総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	-

指標の概要	つくば市の常住人口に対する給水人口の割合
その他の指標	-

事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費（A）		701千円	82千円	635千円	0千円
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	701千円	82千円	635千円	0千円
人件費（B）		1,583千円	3,776千円	3,880千円	
内訳 正職員	従事割合	0.20人	0.50人	0.50人	
	時間外勤務	36.00時間	23.00時間	62.00時間	
	臨時職員等	無	無	無	
事業コスト（A＋B）		2,284千円	3,858千円	4,515千円	

H30年度当初積算根拠	-

H30年度の方向性	-	理由	-